

かけがえのない「命」について 大切な人と話そう

— 臓器移植を通して —

日時

平成28年1月16日(土)

無料
ご招待

当日受付も可

●12:30開場 ●13:00開演 ●終了16:00

会場

かがわ国際会議場 高松シンボルタワー棟 6F

●定員300名(お早めにお申込みください)



プログラム

1

『命の大切さを伝えたい』
～臓器提供を受けて～

講師 横山 美紀 先生 (北海道札幌西陵高等学校 教諭)

身を持って体験した臓器移植手術並びに手術に至るまでの自分の病状やレシピエント(移植待機者)としての不安と葛藤、そして移植後の自分自身の生活とドナー(臓器提供者)に対する想いを語ります。生徒に臓器移植の現実と理解を深めてもらい、命の大切さを考える目的で講演活動を行っています。

生きること、命の大切さについて何かを感じてもらい、ドナーの想いを伝えたいと考えています。

プログラム

2

最先端医療を志す者として思うこと

講師 大藤 剛宏 先生 (岡山大学病院 臓器移植医療センター教授)

諸外国では当たり前を受けられる肺移植だが、臓器提供の少ない日本では助かるはずの命が助かっている現状に直面し、様々なアイデアをもって新しい移植手術に挑戦し続けている。

2013年国内最年少患者(3歳)への肺の一部を用いた手術を成功させ、小さな患者にとって生きる希望の光となった。また、今年には世界初のハイブリッド肺移植にも成功し臓器提供の少ない日本において無駄になる臓器を減らし、それにより新たな命を救うことに貢献している。



お問い合わせ

香川県健康福祉部医務国保課内

TEL(087)832-3315 FAX(087)831-0121

(主催)香川県 (公財)香川いのちのリレー財団